

第5回江別市学校給食用食器検討委員会 議事録（要点筆記）

1 日 時 令和8年9月17日（木） 午後3時30分から午後4時00分まで

2 場 所 江別市給食センター元野幌調理場 2階会議室

3 出席者 委 員 長 安部 由里香
委 員 金丸 剛輝
委 員 川岸 尚史
委 員 小林 道
委 員 小林 周平
委 員 中井 和夫
委 員 和田 陽一
委 員 杉島 琴衣

4 欠席者 なし

5 事務局	教育部部長	佐藤 学
	教育部次長	廣田 修
	給食センター長	三浦 洋
	センター調理場長	河村 英邦
	対雁調理場長	井上 滋
	対雁調理場班長	佐藤 浩治
	センター調理場班長	平野 恵子
	業務係長	白戸 麻衣
	センター主査	新田 雅樹
	栄養教諭	倉田 幾代

5 傍聴者 なし

第5回江別市学校給食用食器検討委員会

日時 令和8年9月17日（木）15時30分

場所 元野幌給食センター2階会議室

	内 容
事務局 （三浦 センター長）	ただいまから、第5回江別市学校給食用食器検討委員会を開催いたします。
事務局 （三浦 センター長）	当委員会は、設置要綱第5条第2項において、委員の半数以上の出席をもって成立することとなっております。現時点で、8名のうち、8名の出席がありますので、委員会が成立しておりますことをご報告いたします。
事務局 （三浦 センター長）	それでは、次第にそって、進めさせていただきます。 次第の2「委員長挨拶」について、安部委員長からご挨拶を頂戴したいと思います。よろしくお願いします。 【安部委員長挨拶】
事務局 （三浦 センター長）	ありがとうございました。 これ以降の議事進行につきましては、委員長に交代させていただきます。安部委員長、よろしくお願いいたします。
安部委員長	それでは、議事に入る前に、江別市学校給食用食器検討委員会の公開について、事務局から説明をお願いいたします。
事務局 （三浦セン ター長）	当市では、審議会等の会議は、支障のない限り公開を原則としており、この会議でも傍聴を認めております。 もう1点、会議の議事の概要として、発言の内容を発言者の氏名とともに市のホームページ等で公開いたしますので、ご了承願いたいと思います。 なお、本日、傍聴者はおりません。
各委員	【承認】

安部委員長	それでは次第の3「議題」に入ります。 「意見書」について事務局から説明をお願いします。
事務局 (井上場長)	説明の前に食器製造業者から、図柄入りのPEN樹脂製食器のサンプルをお借りしましたので、お渡しします。ご確認ください。 黄色のラインがついているものが通常版で絵柄がついているもので、少し価格が上がります。
各委員	≪PEN樹脂製食器のサンプルを確認≫
事務局 (井上場長)	後ほど説明いたしますが、意見書にもデザインについての考えを記載しておりますので、参考にしてください。 それでは、お手元の意見書（案）をご覧ください。 第4回の検討委員会でまとめていただいた意見を基に記載しています。 全体の構成として、標題の下に結論を記載し、その下に付帯意見を記載しています。 裏面には、まず検討委員会が設置された理由として現状の説明を行い、その下でPEN樹脂製食器に変更することで期待される効果を記載し、最後に検討委員会のメンバーを記載しています。 はじめに、結論部分ですが、「江別市の小学校及び中学校の学校給食用食器については、PEN樹脂製食器の使用が適当と考えます。」と、しております。 今後の予定として、この意見書を教育委員会に提出し、教育委員会にて次年度以降の食器が決定されることになるため、検討委員会では「適当と考える」という表現になっています。 それに対する付帯意見として、前回までの検討委員会であったご意見を記載しています。 こちらは、もしPEN樹脂食器への変更が決定された場合に、配慮して欲しいことを記載しています。 ひとつめは「食への意欲向上のため、地域性があり、親しみの持てるデザインについて検討すること。」 これは「PEN樹脂製食器でも工夫をすることで、食育に効果がある食器にすることが可能」というご意見を受けて記載しています。

事務局 (井上場長)	子ども達の意見の反映方法や食器メーカーへの確認などデザインの決定に係る詳細については、予算も関係することから、教育委員会に一任いただきたいと思います。 次に「変更後においても、これまでと同様「みんなで使う食器を大切にする」という観点からの教育を継続すること。」 これは「割れにくい食器になるので乱暴に扱うのではないか」⇒という意見を受けて記載しております。割れる、割れないに関わらず物を大切にする教育は大切であり、学校とも連携しつつ、教育として継続したいと思います。 次に「プラスチックに耐用年数は設定されていないが、傷等による悪影響に配慮し、劣化状況等を確認できる管理体制を構築すること。」 これは従来の強化磁器食器と比較して柔らかくなるため⇒「傷等の劣化により、洗剤が食器に残ってしまうなどの可能性がある」という意見があったことから記載しています。 想定では、常時の目視確認、長期休みにおける一斉点検、一定期間使用後の公的機関による検査などを考えています。 資料の裏面をご覧ください。 「江別市の学校給食用食器について」⇒です。 これは、江別市の学校給食の規模及び現状と課題を認識し、検討を行ったということで記載しています。 次に「PEN 樹脂製食器の使用により期待される効果」です。 検討委員会であったご意見をもとに、5つの項目にまとめています。 ひとつめが「安全の実現」。 検討委員会でも児童生徒の安全を高めることが最優先として検討されたことから記載しています。 2つめが「安心の実現」。 児童生徒が悪意なく食器を割ってしまった場合の感情についても検討が行われたことから、PEN 樹脂製食器になった場合には、そのストレスも低減されることを記載しています。 3つめが「食事をする時間の確保」。 破損した際のあと片付けについての検討があり、給食時間がそれにとられてしまうこともあるという検討が行われたことから、破損対応がなくなる利点について記載しています。
-----------------------	---

事務局 (井上場長)	4つめが「給食に関連する作業の負担軽減」。 児童生徒、給食に携わる調理員等の負担についても検討がされたことから、軽くなることによる作業負担が軽減されることについて記載しています。 5つめが「災害時のリスクを軽減」。 給食時間に地震が発生した場合についてのご意見があったことから、地震災害における危険な状況の発生防止について記載しています。 最後に、令和7年度から令和8年度の委員名簿を記載しています。 説明は以上です。
安部委員長	事務局から説明がありました。 私と事務局で案を作成させていただきましたが、内容、表現等で確認したいこと、または変えた方が良いところなどがありましたら、ご意見をお願いします。 結論部分から付帯意見、裏面の学校給食用食器について、最後に期待される効果について、というように順番にお聞きしたいと思います。 はじめに、結論部分について、何かご意見ありますか？
各委員	～意見・質問なし～
安部委員長	次に付帯意見についてですが、まず、私から1点確認させてください。 付帯意見のデザインについて、「食への意欲向上のため、地域性があり、親しみの持てるデザインについて検討すること」とありますが、これは、食器メーカーで持っているデザインの中から選ぶ、ということになりますか。
事務局（井上場長）	今後、教育委員会で予算を確保して、食器選定を進めることになりましたが、全面的なオリジナルデザインになると、難しいかもしれません。 基本的に、検討委員会では「地域性や親しみの持てるデザイン」というように方針を決めていただき、決定方法を含め、詳細は教育委員会に一任していただきたいと思います。 まだ、これからの話になりますが、製造業者と打合せをしていき、何点か候補を決めた後、児童生徒に意見を聞いてその中から選んでもらう、というような方法ができれば、と考えています。 委員の皆さまには、地域性や親しみ以外の方針や、江別市の特色についてご意見をうかがえると、助かります。

安部委員長	突然思いつくのは難しいかもしれませんが、地域性や親しみ以外の方針や江別市の特色となるモチーフについて、委員の皆さまから何か意見ありますか。 江別で作物といえば、ブロッコリーでしょうか。
事務局（井上場長）	事務局で考えたときに、やはりブロッコリーとかレンガなどが話にでていました。
小林（道）委員	皆知っているものが良いですね。 学校ではみんなが共通で知っているようなキャラクターの様な物はないですか。
安部委員長	どうなのでしょう。
小林（道）委員	子どもが卒業しても「食器にこんな図柄がついていたよね」という風に話せると良いですね。
事務局（井上場長）	学校の教材で「私たちの江別」があるかと思いますが、そこでは江別の特色を学んだりするのでしょうか。
安部委員長	食に関することですか。
事務局（井上場長）	食に関係しなくとも、風土的なものでも良いかと思います。
安部委員長	やはり、レンガでしょうか。キャラクターならエベチュンとか。エベチュンが持っているハルユタカも子ども達は知っていると思います。 先ほど、事務局からもありましたが、デザインの決定にあたって、子ども達の意見も聞く機会など色々なことを参考にして、教育委員会で決めていただければと思います。 それでは、裏面にうつりまして、江別市の学校給食用食器について、何かご意見ありますか？
小林（道）委員	食器の使用状況等の部分で、この説明でも想像はつくのですが、年間何食ということまで記載したほうが良いと思います。 そのほうがとても多くの給食を提供しているというイメージがされると思います。

安部委員長	具体的な数字があった方がわかりやすいと思いますので、記載について事務局で検討をお願いします。 他にありますか。
各委員	～意見・質問なし～
安部委員長	次に PEN 樹脂製食器の使用により期待される効果について、何かご意見はありますか？
各委員	～意見・質問なし～
安部委員長	意見書について、検討委員会からの意見はこのようになりましたが、事務局から何かありますか。
事務局（井上場長）	意見書のご検討ありがとうございました。 本日検討いただいた点を修正し、完成版として、後日、各委員にメールにて送らせていただきますので、ご確認をお願いします。 完成した意見書につきましては、後日、教育長に安部委員長から提出していただきます。 日程等について後ほどご相談させていただきますので、安部委員長、どうぞよろしくお願いいたします。
安部委員長	承知いたしました。 それでは次第の3、議題について終了いたします。 次に次第の4、その他ですが、委員の皆さまから何かありますか？
各委員	（なし）
（事務局） 佐藤教育部長	本日、食器検討委員会からの意見書をまとめていただきまして、ありがとうございました。 この食器検討委員会は昨年の12月に設置し、これまで書面会議を含めて5回の検討を重ね、議論をいただきました。 検討においては、各委員から多角的な視点でご意見をいただき、それに対する思いや意見などを交わす中で、最終的に一つにまとめていただいたと思っております。 先ほども事務局から説明がありましたが、この後、安部委員長から黒川教育長に、この意見書を提出いただき、その後、教育委員会として、皆さまからの意見を重く受けとめ、子ども達が使う食器について、決定

(事務局) 佐藤教育部 長	してまいりたいと考えております。 今後、意見書のとおり、食器の変更を決定した場合には、予算を確保した上で、来年１年間をかけて業者と打合せを行い、食器を調達するという運びになります。 そうしたことから、食器の使用開始については少し先になりますが、令和１０年の４月からになると考えております。 そのころには、例えばデザインが良いものができれば、新聞などでたくさんPRをさせていただき、皆さんの目にとまることもあろうかと思えます。 そうなったときに、あの意見書がこんな風に反映したんだな、と思っていただけるような食器にしたい、と思っておりますが、先ほど事務局からもありましたが、予算のこともありまして、できることとできないことがあるかと思いますが、いただいた附帯意見も含めてしっかりと受けとめて進めていきたいと思えます。 皆さまの検討委員会の任期が９月末までとなっており、任期のぎりぎりまで何度もご検討を重ねていただきましたが、今回が最後になります。 今までのご協議に改めて感謝を申し上げるとともに、これからも給食のことで、意見等がございましたら、どのようなことでも構いませんので、ご遠慮なくいただけると幸いです。 本日の検討委員会、どうもありがとうございました。
事務局（三浦 センター長）	事務局からは以上です。
安部委員長	それでは、以上で第５回検討委員会を閉会いたします。 本日はありがとうございました。

--	--